学校番号	３２４

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	3	年次	3
使用教科書	改訂「地学基礎」　　（東京書籍）						
副教材等	ニューサポート　改訂　地学基礎　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々の生活の中で、起こるさまざまな現象に興味を持ち、科学的に考察する習慣を身につけてもらいたい。

2　学習の到達目標

1．日常生活や社会との関連を図りながら，宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。
2．地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識をもって観察・実験を行い，地学的に探究する能力と態度を育てる。
3．地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，地学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察･実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学的な事象に関心を持って、意欲的に探求する態度を身につけさせる。	地学的な事象の中に問題を見出し、観察･実験などを行うとともに、実証的･論理的に考え、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを自身の言葉で表現する。	観察・実験の技能を習得するとともに、科学的に探求する方法を身につける。また、その過程・結果や導き出される考えを表現する。	観察･実験を通して、地学的な事象に関する基本的な概念や原理･法則を理解し、知識を身につけさせる。
評価方法	・授業態度の観察 ・発問評価 ・ノート・副読本の記述 ・定期考査	・授業態度の観察 ・発問評価 ・ノート・副読本の記述 ・小テスト ・定期考査	・実習に取り組む姿勢 ・発問評価 ・ワークシートの記述 ・定期考査	・発問評価 ・ワークシートの記述 ・副読本の記述 ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1学期</td><td rowspan="4">私たちの宇宙の進化・地球の変遷と生物の進化</td><td>宇宙の構造と進化</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="3">a 宇宙や太陽系の誕生に関心を持ち，地球の特徴を知ろうとする意欲を持っている。
b 天の川銀河をはじめ，銀河が分布している宇宙の広がりと構造を統合的に把握しようとしている。
c 宇宙や天体を探る実習・観察・探究活動を通じて科学的な見方や考え方を理解・習得できている。
d 太陽系→天の川銀河→銀河団→超銀河団という階層の中でそれぞれの構造が理解できている。</td><td rowspan="4">学習状況
探究活動
ノート・ワークシート
観察・実験
定期考査</td></tr>
<tr><td>太陽と惑星</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>地層や岩石の観察</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="2">a 地層が形成される仕組みに興味・関心を示している。
b 地層が形成される仕組みについて考えることができている。
c 地層や岩石の観察，実験を通じて過去におこった出来事やその形成などに関することを調べることができている。
d 地層や岩石の観察，実験から地層が形成される仕組みを理解できている。
地球環境の移り変わりと古生物の変遷が関連付けられて整理・理解できている。</td></tr>
<tr><td>生命の変遷</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td rowspan="3">私たちの大地・空と海</td><td>大地とその動き</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="3">a 地球の形・大きさ・内部の構造について興味を示している。
b エラトステネスの方法を通して地球の大きさを求めることができている。
c 地震・火山の存在については、地球内部に原因があることを実習などを通じて調べることができている。
d 地球の形の特徴や大きさについて理解できている。
a 大気と海洋について興味・関心を示している。
b 大気の大循環や海水の運動を緯度による太陽放射の受熱量と関連付けて考えることができている。</td><td rowspan="3">学習状況
探究活動
ノート・ワークシート
観察・実験
定期考査</td></tr>
<tr><td>地震</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>火山</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

		大気と海洋				○	c 自然環境の変化をデータを用いて科学的に考察することができている。 d 大気の構造と地球全体の熱収支について整理され，地球規模で熱が輸送されていることが理解できている。	
3学期	私たちの地球のこれから	日本の自然の恵みと防災				○	a 地球環境の変化に気づき，興味・関心を示している。 b 地球環境の変化を人間生活と関連付けて科学的に考えることができている。 c 自然環境の変化をデータを用いて科学的に考察することができている。 d 地球規模の自然環境の変化が科学的に理解できている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。